

野良猫写真投稿求む！

熊本市中央区の竜之介動物病院などでつくるボランティア団体「BOX竜之介」（徳田竜之介代表）と崇城大の和泉信生助教が、野良猫の生息実態を把握するためのサイト「ねこでる」を開発した。見かけた猫の写真を投稿してもらい、野良猫データベースを作成。不妊手術などの活動に役立つ。

熊本地震の際、断水や復旧の状況を投稿してもらい、地図上で一覧できるといった和泉助教の「水出るアプリ」を応用。スマートフォンやパソコンでアクセスした後、専用フォームに写真や目撃場所、コメントなどを書き添え、投稿する。

収集したデータは、殺処分ゼロを目指すTNR（トラップ＝捕獲、ニュ

「殺処分ゼロ」活動に活用

データ化へサイト開設

「ねこでる」は、10日から運用を始めたいと話す。熊本市のボランティア団体など、不妊手術、リターン元（場所へ戻す）活動に活用する。「BOX」では20年間ほど前からTNR活動を進めるが、住民からの持ち込みが頼り。サイトで集まった情報を基にして、捕獲などに効果的に取り組みたいと話す。

10日から運用を始め

（高橋俊啓）

「ねこでる」は<https://neko.today>

熊本市のボランティア団体など



地域で見かけた猫の写真と、目撃場所や特徴などの情報を募る投稿サイト「ねこでる」の画面